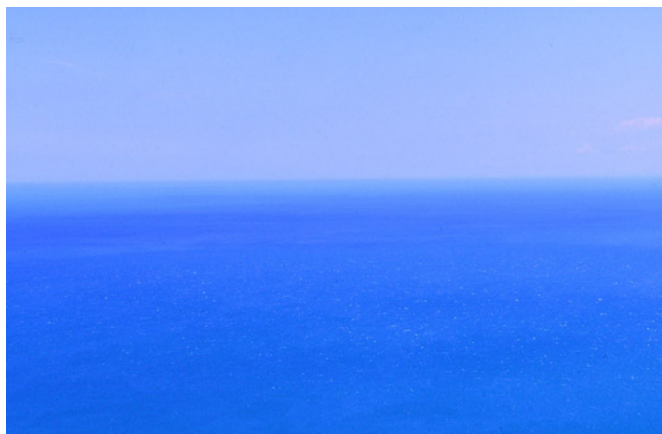


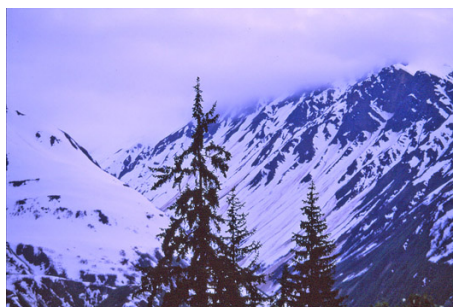
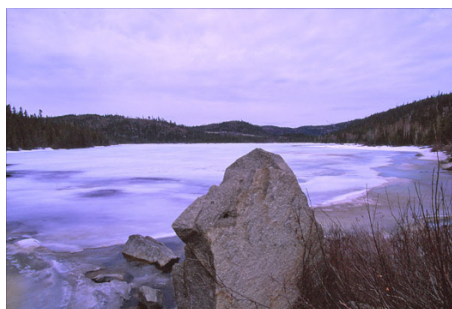
3533 **世界の旅 0093**：地球の色彩が面白い



猛暑の時期だけに、雪や氷が愛おしい。目を閉じると、思い浮かぶ。

口、目、鼻、耳、頬にも感じた至福の時間。

慈母のような自然であってほしい。平和、自然との共生、謙虚に、前向きに実践したいもの。





7月25日の京都の夕景、珍しく空全体が真っ赤だった。
天変地異、何も起こらないことを願う。当たり前なのが、当たり前にある幸せ。
真っ青な空と白い波。繰り返される轟音^{ごうおん}。なぜか、思い浮かんだ。

